

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【公開番号】特開 2005-100518 (P2005-100518A)
 【公開日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-015
 【出願番号】特願 2003-331940 (P2003-331940)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 27/02 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 27/00 A

G 1 1 B 20/10 F

G 1 1 B 27/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 21 日 (2006.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の記録媒体に対して情報データを記録再生する第 1 の記録再生手段と、
 第 2 の記録媒体に対して情報データを記録再生する第 2 の記録再生手段と、
 前記第 1 の記録媒体に係る第 1 の識別情報を検出すると共に、前記第 2 の記録媒体に記録された複数の情報データに対してそれぞれ付加されている第 2 の識別情報を検出し、前記第 1 の識別情報と前記第 2 の識別情報とを比較する識別情報検出手段と、
 前記識別情報検出手段による比較結果に基づき、前記第 2 の記録媒体に記録されている複数の情報データのうち、前記第 1 の識別情報の値と一致する値を持つ前記第 2 の識別情報が付加された情報データを前記第 2 の記録媒体から読み出して前記第 1 の記録媒体に記録するよう前記第 1 の記録再生手段と第 2 の記録再生手段とを制御する制御手段とを備える記録再生装置。

【請求項 2】

前記第 1 の記録媒体に対する前記第 1 の識別情報の値を任意に設定する設定手段を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の記録再生装置。

【請求項 3】

前記第 1 の記録再生手段は、前記設定手段により設定された第 1 の識別情報を前記第 1 の記録媒体に記録することを特徴とする請求項 2 記載の記録再生装置。

【請求項 4】

前記第 2 の記録媒体に記録された複数の情報データに対してそれぞれ付加する前記第 2 の識別情報の値を任意に設定する設定手段を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の記録再生装置。

【請求項 5】

前記制御手段は更に、前記第 1 の識別情報と一致する前記第 2 の識別情報が付加された情報データを前記第 1 の記録媒体に記録した後前記第 2 の記録媒体より消去するよう前記

第 2 の記録再生手段を制御することを特徴とする請求項 1 記載の記録再生装置。

【請求項 6】

第 1 の記録媒体と第 2 の記録媒体とに対して情報データを記録再生する方法であって、前記第 1 の記録媒体に係る第 1 の識別情報を検出すると共に、前記第 2 の記録媒体に記録された複数の情報データに対してそれぞれ付加されている第 2 の識別情報を検出し、前記第 1 の識別情報と前記第 2 の識別情報とを比較する識別情報検出ステップを有し、

前記識別情報検出ステップによる比較結果に基づき、前記第 2 の記録媒体に記録されている複数の情報データのうち、前記第 1 の識別情報の値と一致する値を持つ前記第 2 の識別情報が付加された情報データを前記第 2 の記録媒体から読み出して前記第 1 の記録媒体に記録する記録再生方法。

【請求項 7】

第 1 の記録媒体に対して情報データを記録再生する第 1 の記録再生手段と、

第 2 の記録媒体に対して情報データを記録再生する第 2 の記録再生手段と、

前記第 1 の記録再生手段と第 2 の記録再生手段とを制御して、前記第 2 の記録媒体に記録されている情報データを読み出して前記第 1 の記録媒体に記録する制御手段と、

前記第 1 の記録媒体に係る第 1 の識別情報を検出すると共に、前記第 2 の記録媒体に記録された複数の情報データに対してそれぞれ付加されている第 2 の識別情報を検出し、前記第 1 の識別情報と前記第 2 の識別情報とを比較する識別情報検出手段とを備え、

前記制御手段は、前記識別情報検出手段による比較結果に基づき、前記第 2 の記録媒体に記録されている情報データのうち、前記第 1 の識別情報の値と一致する値を持つ前記第 2 の識別情報が付加された情報データへのアクセスを許可し、前記第 1 の識別情報の値とは異なる値の前記第 2 の識別情報が付加された情報データへのアクセスを禁止することを特徴とする記録再生装置。

【請求項 8】

第 1 の記録媒体と第 2 の記録媒体とに対して情報データを記録再生する方法であって、

前記第 1 の記録媒体に係る第 1 の識別情報を検出すると共に、前記第 2 の記録媒体に記録された複数の情報データに対してそれぞれ付加されている第 2 の識別情報を検出し、前記第 1 の識別情報と前記第 2 の識別情報とを比較する識別情報検出ステップと、

前記第 2 の記録媒体に記録されている情報データを読み出して前記第 1 の記録媒体に記録すると共に、前記識別情報検出ステップによる比較結果に基づき、前記第 2 の記録媒体に記録されている情報データのうち、前記第 1 の識別情報の値と一致する値を持つ前記第 2 の識別情報が付加された情報データへのアクセスを許可し、前記第 1 の識別情報の値とは異なる値の前記第 2 の識別情報が付加された情報データへのアクセスを禁止する制御ステップとを有することを特徴とする記録再生方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この様な目的を達成するため、本発明においては、第 1 の記録媒体に対して情報データを記録再生する第 1 の記録再生手段と、第 2 の記録媒体に対して情報データを記録再生する第 2 の記録再生手段と、前記第 1 の記録媒体に係る第 1 の識別情報を検出すると共に、前記第 2 の記録媒体に記録された複数の情報データに対してそれぞれ付加されている第 2 の識別情報を検出し、前記第 1 の識別情報と前記第 2 の識別情報とを比較する識別情報検出手段と、前記識別情報検出手段による比較結果に基づき、前記第 2 の記録媒体に記録されている複数の情報データのうち、前記第 1 の識別情報の値と一致する値を持つ前記第 2 の識別情報が付加された情報データを前記第 2 の記録媒体から読み出して前記第 1 の記録媒体に記録するよう前記第 1 の記録再生手段と第 2 の記録再生手段とを制御する制御手段とを備える構成とした。